



梅雨明けに関するお知らせ

令和6年7月18日
甲府地方気象台

(見出し)

気象庁は、本日(7月18日)「関東甲信地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

関東甲信地方では、太平洋高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう1週間も、山沿いや内陸部を中心に一時雨や雷雨となるところがありますが、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、関東甲信地方は7月18日ごろ梅雨明けしたと見られます。

(注意事項)

梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しを基に速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて、梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。

(参考資料)

平年の梅雨明けは7月19日ごろです。

昨年の梅雨明けは7月22日ごろでした。今年の梅雨入りは6月21日ごろでした。

6月21日から7月17日までの降水量は次のとおりです(速報値)。

(カッコ内は6月21日から7月17日までの降水量平年比)

平年値の統計期間：1991年～2020年

気象官署	甲 府	208.0 ミリ (159%)		
特別地域気象観測所	河口湖	211.5 ミリ (131%)		
アメダス観測所	大 泉	207.0 ミリ (132%)	富士川	194.5 ミリ (147%)
	乙女湖	228.5 ミリ (122%)	古 関	188.0 ミリ (117%)
	韮 崎	209.0 ミリ (142%)	切 石	205.5 ミリ (123%)
	勝 沼	149.0 ミリ (115%)	山 中	203.5 ミリ (94%)
	大 月	166.5 ミリ (109%)	南 部	335.5 ミリ (118%)
	上野原	177.0 ミリ		

※上野原には平年値がありません。

本件の問合せ先：甲府地方気象台
(TEL 055-222-9101)